

つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画再検討説明会〔議事要旨〕

平成 30 年 10 月 14 日（日） 10:00～：伊奈公民館 / 15:00～：谷和原公民館

義務教育施設適正配置基本計画の再検討について内容や進め方をご説明するため、平成 30 年 10 月 14 日に説明会を開催しました（全 2 回開催、延べ 88 名参加）。説明会の概要は、市のホームページでも紹介します。

以下に、説明会で寄せられたご意見・ご質問を紹介します。（※一部、抜粋、要約しています。）

1) 再検討の経緯について

Q1 : 再検討に至った経緯、方針が変わった理由は何ですか。（谷和原公民館）

⇒A : 計画策定後の平成 28 年、29 年度の進捗状況から、当初スケジュールでは難しいと判断しました。複式学級の解消を最優先に統合スケジュールや中学校の適正配置について再検討するためです。

Q2 : 板橋小と東小の統合が進まなかった理由は何ですか。（伊奈公民館）

⇒A : 市の体制が十分でなかったことや、保護者、地域の方々の理解を得られなかったことがあります。

2) 統合に対する将来ビジョンについて

Q3 : むこう 30 年くらいの長期の学校・教育ビジョンが必要ではないですか。また、工業団地の完成を見据え、人口増も捉えて検討すべきではないですか。（谷和原公民館）

⇒A : 人口増という楽観視はしていません。日本の人口がこれから急速に減っていく中で、みらい平地区の人口増にも限りがあります。予測を立て、しっかりとしたまちづくりをしていくことが重要と考えています。

3) 統合グループについて

Q4 : 小規模校を 3 校統合しても少ない人数なのであれば、これまでの 6 小 4 中の方針を見直してはどうですか。（谷和原公民館）

⇒A : 現計画には、20 人以上を超える場合は単学級を認めることも可能とする内容もありますが、統合しても 2 学級にならない学校規模の課題については、今後の審議会で検討してきます。

4) 中学校を見据えた統合について

Q5 : 中学校の新設と小学校の統廃合の関係はどうなりますか。（伊奈公民館）

⇒A : 中学校区を基本とし、小学校と中学校を一体的に検討していきます。

Q6 : 義務教育学校（同一敷地内の施設一体型）の検討はしていますか。（伊奈公民館）

⇒A : 義務教育学校の検討はしておりません。市では施設一体型ではありませんが、同じ教育目標を掲げた施設分離型の小中一貫教育を展開しています。

5) 通学方法について

Q7 : 統廃合をする場合、スクールバスの導入は必須ではないですか。（谷和原公民館）

⇒A : 通学距離が長くなると、検討は必要かと考えています。今回の審議会で通学方法についても検討していきます。

6) 教室数について

Q8 : 現在の中学校施設で、どの程度対応できるのですか。（伊奈公民館）

⇒A : 生徒数だけを見れば、現教室数で賅えます。しかし、学区でみると谷和原中で不足する予測です。

7) 複式学級の影響・課題について

Q9 : 複式学級による具体的な影響、課題は何ですか。（伊奈公民館・谷和原公民館）

⇒A : 一般的には、文部科学省で示している9項目※の課題があると言われています。

(※①集団の中でコミュニケーション能力が身につけにくい。②人間関係の固定化。③協働的な学びの困難。④教員の専門性が生かしきれない。⑤切磋琢磨する環境で意欲や成長が引き出されにくい。⑥教員への依存心が強まる。⑦進学で大きな集団への適応に困難を来す可能性。⑧多様な意見に触れることが難しい。⑨多面的な評価で個性を伸ばすことが難しい。〔出典：「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（平成27年1月27日 文部科学省）〕

8) アンケートについて

Q10 : アンケートで寄せられた意見に対しての回答はないのですか。（伊奈公民館）

⇒A : 同アンケートについては、「個別回答はしない」と記載して実施しております。いただいたご意見は取りまとめて審議会の議論の参考とさせていただきたいと思っております。

Q11 : 子どもの意見を聞いていますか。（伊奈公民館）

⇒A : 聞いておりません。しかし、大規模校や小規模校の教育現場を実際に見ることで、教育環境の現状把握に努めています。

Q12 : アンケートの回収数が少ないのではないですか。（伊奈公民館）

⇒A : 回収数は少ないですが、自由意見で9割の方に意見をいただきました。貴重な意見として審議会で議論の参考とさせていただきます。

Q13 : 統合されない学校の地域の方は、統廃合に興味がないのではないですか。（谷和原公民館）

⇒A : アンケートの地区別の回収率の内訳は、陽光台小が最も多く（29.3%）。その他の地区も約5%から12%の間で、概ね万遍なく全ての地区からご意見をいただきました。

Q14：アンケートの設問で、何故、学級人数や学級数から入っていったのですか。低い回収率で統廃合の判断は難しいと思います。今後、意見の汲み上げ方を検討していただけないですか。（谷和原公民館）

⇒A：アンケートは小規模校や複式学級について意見を伺いたいというのが目的です。回収率が低かったことについては市民の皆さまが分かりやすく、回答のしやすいようなアンケートとなるように今後、改善していきたいと思います。

9) 審議会について

Q15：審議会のメンバーは誰ですか。（伊奈公民館）

⇒A：市議会2名、行政協力員4名、PTA代表者7名、学校教育関係者2名、学識経験者3名、公募による市民2名を予定しています。

Q16：審議会の回数はどのくらい行いますか。（伊奈公民館）

⇒A：審議会は今年度4回、来年度4回の合計8回を予定しています。

Q17：全学校のPTA代表が審議会に参加するべきではないですか。（伊奈公民館）

⇒A：条例に20人以内という定数の規定があるので、審議会で委員となっていない学校のPTAが発言できるよう、第1回の審議会で諮っていきたいと思います。

10) 情報公開について

Q18：地域や世代で意見が異なります。アンケートなどの情報を公開していただきたいです。（谷和原公民館）

⇒A：11月の広報紙、ホームページでアンケート結果を公開する予定です。

Q19：審議会のメンバー、内容は全て公表されますか。（谷和原公民館）

⇒A：原則、公開で開催します。また、議事録も公開していきます。

11) 跡地利用について

Q20：廃校施設はどのような形で残りますか。（伊奈公民館）

⇒A：市の財産として、庁内で検討していきます。まず教育環境を優先に考え、今回の適正配置の再検討とは別に跡地利用のことを検討していくことと考えています。

Q21：統廃合により財政的負担がどのくらい軽減しますか。（谷和原公民館）

⇒A：財政面から統廃合を決めるわけではありません。あくまで、どのような教育環境が望ましいかという視点で統廃合を検討していくことと考えています。

主なご意見、要望（説明会時のご意見及びご意見シートの抜粋）

（１）統廃合の進め方

- 意見①：スピード感をもって決断し、実施していただきたいです。（伊奈公民館）
- 意見②：スケジュールの明確な説明など統合対象校から早めにしてもらいたいです。（伊奈公民館）
- 意見③：もう少し行政の考え方、今後の方向性をもって意見交換会を開いてほしいです。（伊奈公民館）
- 意見④：行政判断と保護者の想いをすり合わせれば建設的に話が進むと思います。（伊奈公民館）
- 意見⑤：各地域のビジョンに合った形にして頂きたいです。（谷和原公民館）
- 意見⑥：統合の前に学区を柔軟に考えて、隣接する地区は学校を選べるようにしても良いと思います。（伊奈公民館）
- 意見⑦：複式の解消を早急に、市長のリーダーシップを発揮していただきたいと思います。（伊奈公民館・谷和原公民館）
- 意見⑧：どこを統廃合するかまで進めてもいいと思います。全ての意見を聞いては進みませんので、市長の考えで良いと思います。一番大切な子どもたちのためにやっていただきたいと思います。（谷和原公民館）
- 意見⑨：学校がなくなるというのは、地域の過疎化がますます進む一因になると思います。（伊奈公民館）

（２）安全対策

- 意見⑩：学校施設の安全性、利便性を最優先に検討してほしいと思います。（谷和原公民館）
- 意見⑪：気象状況、地形などの安全面も考慮して、審議していただきたいです。（谷和原公民館）
- 意見⑫：中学校を造るより、通学路の整備をするべきではないかと思います。（伊奈公民館）

（３）地域や伝統などへの配慮

- 意見⑬：伝統や人口増となっていることなどを考慮して、学校は残していただきたいと思います。（伊奈公民館）
- 意見⑭：国の基準ばかりではなく、学校で学ぶ子供や、保護者の意見を重要視して統廃合する必要があると考えます。（谷和原公民館）

（４）跡地利用

- 意見⑮：保護者以外は跡地利用が焦点となりますが、そこは切り離して、まず子どもの教育環境ということで進めてほしいと思います。（伊奈公民館）

（５）農業を見据えた教育

- 意見⑯：農業が盛んな市です。農業従事者の育成、農業高校の設置も方法の一つではないですか。（谷和原公民館）

(6) 意見の聴取について

意見⑰：アンケートの伝達不足があったのではないかと思います。(伊奈公民館)

意見⑱：子育て世代の保護者などへはグループセッションのように、ヒアリング形式で広く意見を拾えるのではないかと思います。(谷和原公民館)

(7) 複式学級について

意見⑲：複式学級が発生している小学校は、教員の確保をしっかりと行ってほしいです。(伊奈公民館)

意見⑳：小学校間の交流をより進める施策を実施してほしいです。(伊奈公民館)

意見㉑：子ども達の複式学級を解消してほしいです。(谷和原公民館)

(8) みらい平地区の中学校建設について

意見㉒：みらい平地区の成長率を考慮して、ぜひ同地区への中学校建設をお願いしたいです。(谷和原公民館)

意見㉓：中学校を造るより、通学路の整備をするべきではないかと思います。(伊奈公民館)
(再掲)

《 つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画再検討説明会 実施概要 》

1 日 時：平成30年10月14日(日) ①午前10時～午前11時30分(伊奈公民館)
②午後 3時～午後 4時30分(谷和原公民館)

2 場 所：①伊奈公民館／②谷和原公民館

3 参加者：市民 60人(伊奈公民館)／28人(谷和原公民館) 合計 88人

ご意見シート回収数 19枚(伊奈公民館)／15人(谷和原公民館) 合計34枚

4 出席者：市長、教育長、教育委員会職員、他

5 概要：1) 開会

2) 市長あいさつ

3) 教育長あいさつ

4) 事務局紹介

5) 説明

6) 質疑・意見交換

7) 閉会